



## 1、秋めく東京🍁

皆さんこんにちは。広報の渡辺です。

全国的に一気に気温が下がり、杪夏の風情を楽しむ間もなく寒さを感じるようになりました。まさに季節の変わり目といった気温の変化ですが、皆さん体調にお変わりはないですか。私は早々に冬布団を出しました。

さて、今月のArinos Newsletterはオフィスから見える東京タワーを添えて、六本木の秋をお届けします。この日は秋雨で少し霏がかかっていた。真夏に見上げた東京タワーとは少し違って見え、どこか儂く、見ているとこちらがセンチメンタルになるようでした。

道端には金木犀の実が落ちて、独特の臭いを放っています。枝にいる時はいい香りがして香水にもなるのに、なぜ落ちて踏みつけられるところも変わってしまうのか。出勤途中に毎回思うことです。

すぐに終わってしまう秋を少しでもとどめておきたいのですが、間もなくやってくる冬に向け、冬支度をしておきましょう。



## 2、チャンスの前髪

2007年に発売された、竹内まりやのシングル『チャンスの前髪』という曲をご存じですか。

連続ドラマの主題歌として制作され、サザンオールスターズの原由子がゲストボーカルとして参加しています。私の母が竹内まりやのファンで、昔からよく聴いていました。

このタイトルには由来となった諺があります。「チャンスの神様には前髪しかない」という、ヨーロッパに伝わる諺です。これは、【通り過ぎてしまってから追いかけても、チャンスをものにすることができない】という意味です。つまり、「短い前髪をつかむくらいチャンスをつかむのは難しい、つかめるタイミングを逃すな」、ということ。

私は過去10年以上前髪を長くしていましたが、ふと変化をつけたくなり最近前髪を短く切りました。前髪の長さでチャンスをつかむことには関係はないのですが、なぜか前髪を切ろうと決意した時にこの曲を思い出し、久しぶりに聴きました。

曲を要約すると、チャンスをつかむために友達同士で協力して生きていこうという内容です。30代になり、学生時代に比べ友達の数が減った分、仲は深くなっているように感じます。結婚しても子供ができてもらえない話で、何時間でも盛り上がり上がっていただける仲間たち。

これからも、ライフステージが変わるたびに少しずつ関係性の変化はあるかもしれませんが、それでも、徐々に短くした前髪のように、つかみにくいチャンスをつかむきっかけをお互いに与えられる関係であり続けたいものです。

皆さんもチャンスをつかむ準備は常に万端にしておきましょう！



## 2、オススメの一冊

今月のオススメの一冊はKDの田中さんにご紹介いただきました。  
穏やかなイメージの田中さんからは想像できないような強烈な一冊！  
お楽しみください。

お疲れ様です。田中です。

前職ではプライベートがないほど仕事ばかりで、すっかり本を読む習慣から遠ざかっていたのですが、ご指名を頂いたので何を読むか悩みに悩んだ末に、表紙の熊が印象的で衝動買いしてしまいました。



出版：新潮社 (1982/11/25)  
著者：吉村 昭

### 最後に

美味しいものがいっぱいあり魅力的な北海道ですが、今回、当時の北海道開拓の厳しさや、自然の恩恵や脅威、野生動物の怖さを知ることが出来たのではと思います。

仕事のスキルに結び付くものではないと思いますが、自然に触れることは、パワーを貰い、リフレッシュし、楽しみ、体験することなど学ぶことがいっぱいあると思います。

インドア派の方は、是非アウトドアを経験してみたいかがでしょうか。  
新しい発見があるかもしれませんよ！

ちなみに、三毛別熊事件、当時を再現した展示物が苫前町郷土資料館にあるそうです。小説、漫画などこの事件を題材にした作品も多数あります。

### ストーリー

北海道開拓時代（1915年）に起きた三毛別ヒグマ事件を題材にしたドキュメンタリーです。

一週間にわたり開拓部落を襲い、六人を食い殺し三人に重傷を負わせた凄惨な事件です。開拓者の血のにじむような苦労が窺えると共に、自然の驚異を前にした時の人間の無力さを痛感する作品です。

### 熊嵐とは

昔からの言い伝えで熊を仕留めたあとは強い風が吹き荒れるそうで、これを「熊嵐」と言うそうです。

### 人間と自然

自然からの恩恵、感動を受けることは多々ありますが、皆さんは自然の脅威に自分の無力さを感じたことはありますか？

私の趣味はサーフィン、釣り、キャンプ、スキーやスノーボードなど、自然に触れる機会の多いものばかりです。今のところ、流石に野生動物に襲われる様な経験はありません（今後もそんな経験はしたくない）が、小学生の時に川の中州で一人で釣りをしていた時に突然の増水で犬と一緒に流され、犬を抱えて必死に泳いでなんとか岸までたどり着いた経験があります。

サーフィンでは、他の人が入っていない様な状況下でしたが、軽い気持ちで台風からの大波に挑み、数キロ流され1時間以上パドルし自力で帰還しました。途中、心が何度も折れそうになりました。その他にも、波にまかれ鼓膜を破いたり、波で海底に叩き付けられ骨盤捻挫で動けなくなるも何とか帰還。一緒にいた弟と友人に連れられ病院直行したところ1ヵ月歩行できないなど、これまで幾度となく自然の洗礼を受けました。

自然のパワー(脅威)を思い知らされ、如何に自分が無力なのかを思い知らされた経験です。水ばかりですが、何はともあれ生きててよかったなど。(笑)

#### ※注意※「熊(ひぐま)」に遭遇したら

そもそも遭遇しないよう十分な注意を払うことが重要ですが、2020年は過去5年で熊の出没率が過去最多でした。もし遭遇してしまったら、岩や木に登り自分を大きく見せるか、ゆっくりと静かに後退しましょう。

### 3、新入社員紹介



Arinos newsletter

少し前ですが、新しくArinosに入社した社員に自己紹介をお願いしました。今回は、営業本部所属浜谷一郎さん。ご自身のことに加えご家族のことでも盛りだくさんに書いていただきました！

グッモーニンエブリワン！！

と、早朝に酔っぱらって帰宅し、嫁に怒られたことがある「浜谷 一郎（はまや いちろう）」と申します。

まず、500文字程度ということで、随分多いなと思い、なにからなにまでお話ししようか迷いますが、一旦思うがままに書いてみたいと思います。



#### 浜谷一家

家族構成は、嫁が一人、子供が三人。嫁は、私と古家社長と同一年の昭和58年生まれの38歳で、O型。捨てられないのが奇跡で、それだけでも感謝しております。

子供は上の子が小学二年生の男の子、午年の「一馬（かずま）」と言いまして、野球とプール、私と二人で乗馬を習っています。名前の通り、将来はジョッキーになってほしいと押し付けています。



真ん中の子は小学一年生の女の子、「美羽（みう）」。  
野球とプールとピアノを習っております、将来はアイドルになってほしいと思っておりますが、面白いので美人芸人でもいいと押し付けています。

下の子は、二歳半の男の子「侗一（りょういち）」。  
YouTubeでいろんなことを習っているようです。  
三番目にして初めて画数診断をしながら名前を付けまして、「無欲の大物」になるということです。  
三番目でようやく親のエゴがなくなったのもあり、とにかく大成してくれればと思っております。



あ、既に500文字過ぎてしまいました…  
まだ触りの部分しか話していないのですが  
(笑)

#### 最後に

私の経歴は、22歳から知らない土地函館でサービス業で起業。紆余曲折あり、前々職で一回り上の元上司と立上げた会社を失敗し、今があります。

Arinosでは、雑草魂を活かして頑張りたいと思います。

**よろしく願いいたします！**





# 4、社員インタビュー

今月はASC所属の花井佳奈さんにインタビューにご協力いただきました。  
入社後、一度壁にぶつかったことがあるという花井さんが、どのようにしてその壁と向き合ったのか。さらに、今は仕事が楽しくて仕方がないという花井さんの仕事への考え方を伺いました。

大学卒業後、新卒でArinosに入社されましたが、どのよう魅力を感じましたか。

元々、「対話しながら問題解決をする」ことを重視し、コンサルティング会社を受けており、その中でArinosに出会いました。一次面接の面接官が役員の一人だったのですが、その方の話が面白かった。このArinosに決めた理由は、Arinosについて興味があります。興味深かったことを覚えて、私には大学時代の友人たちの影響で、結婚や出産に左右されたい、スキルを身に付けることが重要だと、常に考えていました。だから、ライフスタイルは変わっても、それまでと同じようにやりがいのある仕事をしたいと思っています。

では今、花井さんが参画中の案件に、専門的なスキルや知識を要するRPA案件ですが、実際に入られていかがですか。

仰るよう、理想的な環境で働けています。現在の案件でRPAに関する課題を聞いた上で、解決策となる技術の課題を自分が見つけたいです。お客様のお手にも自信になるものをお客様の業務がうまくいっているか、お客様が安心していただけるようにしたいです。

社会人二年目頃になると、一度壁にぶつかる人が多いと思うのですが、花井さんはいかがでしたか。

私も落ち込んだ時期がありました。その案件は今と異なり、ルーティンワークで、書類仕事を早く、正確にこなすことが求められ、私には合わないと感じました。仕事の悩みを、案件内の誰かに話すこともできず、段々とふさぎ込んでしまいました。

知識が足りなかった。順応性がある気が付きました。感謝されること、お客様からPCに関する質問されたのですが、それに答えられなかった。お客様からPCに関する質問されたのですが、それに答えられなかった。

その案件では、誰かになったんです。案件以外では、誰かになったんです。案件以外では、誰かになったんです。

休日に在宅作業で、連続して話すと、疲れがたまります。在宅作業で、連続して話すと、疲れがたまります。



素敵な話を聞かせてください。落ち込んでるときは、話を聞いてください。

業務に楽しさと喜びを感じて、今後の目標を教えてください。

RPA案件を担当するにあたり、先ず目標を設定し、日々の業務の中で、お客様のお役に立てるよう努めます。お客様のお役に立てるよう努めます。

お客様が「やりたかったこと」を実現できるように努めます。お客様が「やりたかったこと」を実現できるように努めます。



## 5、経営陣の頭の中

今月からArinosの経営陣が『今、考えていること』を皆さんに発信していきます！

初回は代表の古家さんです。

Arinosが10月に13期目を迎えるにあたり、12期までを振り返ったという古家さん。Arinos創業2年目に受けた母校のインタビューを読み返し、改めて創業当時から変わらない、目指すべき未来への思いや考えと、変わっていくべき理想の社会創造に対する考えを、9月に行われた全社会の中で語られました。

### 経営陣の頭の中 第一回

Arinos 代表取締役社長 古家由也



『変えてはいけないところ。  
変わるべきところ。』

最近、10月に13期を迎えるにあたり、回顧の意味で昔受けた取材を見返しました。2012年に受けた「ワダイのひと」という、私の出身大学である和歌山大学が運営するサイトに今でも掲載されているんですけど、それを久しぶりに。

なんでそれを見返そうと思ったかという、その時に語ったことと今考えることは何が違うのかを確認したかったんです。でも、やはりという感じではあったんですけど、根本の考え方は変わっていませんでしたね。(笑)「SMB企業(※)が主役になれる社会づくり」というのが昔から私が目標としていることだったんですけど、それを語っていました。

どういうことかという、企業は変化しないと取り残されていく。しかし、そのためには投資が必要なんですけど、投資ができる企業は一握りなんですよね。収益を出して投資をしていくには、売上を上げるか費用を削減するしかないんですよ。この、投資から企業成長の支援って言うのは、伴走支援によってワンストップでやることで、実現することができる未来だと、今でも僕は考えています。本質として「SMB企業が主役になれる社会づくり」という考えは変わらないし、変わってはいけないと思っています。

一方で、その為に事業や組織を積極的に変えることは、更なる企業成長に繋がることなんですよね。

これからArinosは13期を迎えますが、Arinosも新たな組織体制という変化のもと、更なる企業成長を目指していきましょう！

※SMB企業：中小企業、中堅企業

参考：「ワダイのひと」

[http://web.wakayama-u.ac.jp/eco/cdo/obog/2012/05/post\\_25.php?p=5](http://web.wakayama-u.ac.jp/eco/cdo/obog/2012/05/post_25.php?p=5)



## 社員インタビュー後

今回インタビューに応じてくださった花井さんは、部署内の定例会議においてファシリテーションを担当されています。社内情報の収集のため、私もその定例会議に出席しているのですが、花井さんのファシリテーションには無駄がなく、すごい勢いでチャットに飛んでくるコメントにも冷静に対応しているのが印象的です。あらゆる話題にも精通しており、コメントを拾っては自身の経験や考えを即座に言葉にでき、聡明さが表れています。

そんな花井さんは、少し前から体を鍛えることにはまっているそうです。しかもキックボクシング！定例会議で聞いた時には大変驚きました。キックボクシングとは言ってもジムに通っているのではなく、自宅でゲームを使って鍛えているそう。定例会議での俊敏な対応力は、この日々の鍛錬のおかげなのかもしれませんね！

今の案件がとても充実しており、楽しめているという花井さん。是非今後も楽しみながら、顧客の事業成長に伴走するArinosを体現してくださることを期待しています！

## 7、編集後記

今月は、先月号から内容をパワーアップさせて、より多くの社員の方にご協力いただきました。

田中さんの「オススメの一冊」の記事を編集する際、この事件を調べたのですが、内容があまりに悲惨でその日夢にまで出てきました。長い時間を経た今でも、クマによる人的被害は起きています。身近なことではありませんが、決して他人事としてはいけないと考えさせられます。

そして、今月も新たにArinosにメンバーが加わりました。オフィスでお会いすると明るく挨拶をしてくださる浜谷さんは、ご家族、主にお子さんの名前について書いてくださいました。改めて、自分の名前の由来を思い出しました。

日々中途採用は積極的に行っております。リファラル制度もありますので、規定をしっかりとご理解いただいた上で身近に「Arinosに合っている」と思う方がいらっしゃいましたら是非、人事までご一報ください！

社員インタビューにご協力いただいた花井さんはとても話しやすく、お客様に頼られるのが納得です。毎月のASC定例でキレキレのファシリを楽しみにしています。

皆さま今月号もご協力いただきありがとうございました！

最後に、今月からコンテンツに追加した『経営陣の頭の中』。初回は、9月の全社会で古家さんがお話された内容です。約10年前に受けた取材から、古家さんが考える「過去・現在・未来」を紐解くような内容になったと思います。

今後も古家さんの言葉や他の役員陣からの言葉を基に、Arinosが向かう方向やその先陣を切る役員陣が目指す未来を、皆さんに共有していきます。

### 制作

記事作成：田中浩行 (KD)  
浜谷一郎 (営業本部)  
社員インタビュー：花井加奈(ASC)  
編集：渡辺尚 (広報)

**Arinos**

**Thank you for your reading !**